

What's New?

(公財)東京市町村自治調査会は、東京都全市町村の総意によって設立され、多摩・島しょ地域における広域的課題や共通課題の調査研究、情報提供、多摩地域の広域的市民ネットワーク活動に対する支援などを行っています。

No.299

シリーズ 島しょ地域の魅力を紹介!

第3回 神津島村

What's New?では、島しょに地域における、まちの取り組みや観光資源、役場の概要、職員の方へのインタビューなどをシリーズで紹介しています。大島町、御蔵島村に続いて、今回は神津島村の特集です。

神津島は伊豆大島、利島、新島、式根島の南にあり、伊豆諸島のほぼ中央に位置する島です。神津島にアクセスする方法は2通りあります。一つは空路、一つは航路です。



▲セスナ機©新中央航空株式会社

▲高速ジェット船「セブンアイランド友」
©東海汽船株式会社

神津島への空の玄関口となる調布飛行場は、平成25年4月から新旅客ターミナルビルの供用が開始されました。授乳室や展望デッキなど施設も充実し、旅の始まりと終わりをこれまで以上に快適に過ごすことができるようになりました。調布飛行場からは、神津島だけでなく、伊豆大島、新島へも就航しています。セスナ機の全長は16.56 m、乗客定員19名です。座席は搭乗する際指定されます。

調布飛行場を離陸して多摩丘陵を眼下に眺め、しばらくすると太平洋が広がってきます。左に三浦半島、右に伊豆半島を眺めながら相模湾上空を通過すると雲が多い日でなければセスナ機の窓から伊豆諸島の島々が目に入り始め、あっという間に神津島空港到着となります。

一方、航路の中心は高速ジェット船で、伊豆大島や新島などを経由し、竹芝桟橋と神津島を結んでいます。船体は揺れが少ないと評判です。

大型連休や7～9月、年末年始などは大型客船も就航しています。夜間に東京を出発し、伊豆大島などを経由し、午前中に神津島に到着します。

■東京島しょ地域の概要



～豊かな海の幸と太陽に輝く緑の恵みを受け永遠に明るく住みよい村～

神津島村



神津島とは?

神津島は、都心から南へ約180kmの伊豆諸島の中ほどに位置する島です。

神代の昔、事代主命(ことしろぬしのみこと)という神様が伊豆諸島の島々を作るために、神々を集めて相談をする拠点としたという言い伝えから、かつては「神が集いし島」すなわち「神集島」と書いたそうです。それが転じて現在の「神津島」となったといわれています。島の中央に位置する天上山(てんじょうさん)に伊豆諸島の神々が集まり、水の分配の会議が行われたという「水配り伝説」もある神秘的な島です。

青い海に浮かぶひょうたん型の神津島は、年間を通じて降水量も多く温暖な気候ですが、冬は西からの季節風が強いため、主に春から秋にかけてが観光シーズンとなります。



▲水配像モニュメント

透明度の高い海はもちろんのこと、真っ白な砂浜が800m続く前浜海岸をはじめ様々なタイプの海岸と変化に富んだ地形、そして各所からの絶景は、神津島の見所です。



▲神津島全体図



▲天上山

見所①(天上山)

島の中央にそびえる天上山は「花の百名山」にも数えられる美しい山です。

頂上が平坦で高度もあまり高くないにもかかわらず、本州では2000m級の高山にしか生息していない高山植物も見られます。

標高572mの天上山からは、天気良ければ伊豆諸島の島々や富士山を見ることができ、「新東京百景」にも選定されています。



▲5月にはシマツツジの花が咲きます

火山だったの?



▲天上山の頂上、台地にある不動池

古代の文献『続日本後紀』の承和8年(840年)の条に噴火の記録が残っており、そのころ天上山は、火山として活発に活動していたといわれています。

ぜひ登ってみよう!

頂上へのトレッキングやハイキングは、島を訪れたらぜひ体験したいことのひとつです。白砂の砂漠や池などがあり、また地形も変化に富んでいるため、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめます。今流行の山ガールにも人気のスポットになっています。

シリーズ 島しょ地域の魅力を紹介!

第3回〈神津島村〉

島の概要(平成25年4月1日現在)

- *位置 都心から南に約180kmの海上に位置する島
- *面積 18.87Km²(周囲22km)
- *人口 1,971名 世帯数 869 世帯
- *歴史 江戸時代には、幕府の直轄領だった。明治初期に静岡県、足柄県(現在の神奈川県)の所管を経て、明治11年に東京府の管轄となり、大正9年に東京府大島支庁の所管に置かれ、同12年内務省令によって神津島村が誕生した。

見所②(透明度の高い海)

あかさきゆうほどう
赤崎遊歩道

赤崎遊歩道は、島の北端にある赤崎海岸の入江を囲む全長約500mの遊歩道です。沖の小島まで橋が架かり展望台も設置されているため、目の前の壮大な海の景色を楽しみながら散策ができます。北の方角には、式根島、新島も見えます。

海の波も穏やかで透明度が高いため、初心者でも楽しめるダイビングスポットになっており、美しい海中の景観を楽しむダイバーが多く集まります。

また、たくさんの種類の魚がみられ、シュノーケリングを楽しむこともできます。

飛び込み台も3か所に設けられており、子どもたちに大人気です。夏のシーズンは観光客でにぎわいます。



▲赤崎遊歩道

せんりょういけ
千両池

島の西南の端にあり、「あしたば」や「さくゆり」など島の植物が生い茂る道を車で断崖に向かって進みます。ぎりぎりまで近づいたら、あとは自分自身の足で絶壁を下っていくと、突然眼下に一目「巨大な池」と見まごう入り江が飛び込んできます。深い青緑色の澄んだ海の色は一瞬言葉を失うほどの美しさです。

千両池は、入り江の入り口を網でふさいだところ、一晩で一攫千金できるぐらい魚が大量に獲れたという言い伝えが残り、その名がついたといわれています。

入り江が丸く陸地に入り込んでいるため、外海が荒れているときでも静かで、夏のシーズンには下まで降りて遊ぶこともできます。



▲千両池

ごしきはま たまいし
五色浜 玉石の不思議

島の北面に続く長浜海岸は別名「五色浜」とも呼ばれ、浜には色とりどりの玉石があります。事代主命(ことしろぬしのみこと)があちこちに2番目、3番目の后(きさき)を作ることに嫉妬した阿波命(あわのみこと)が、后たちの宝石を奪い集めたものがこの石となったという言い伝えがあります。この海岸の石を持ち出すと、今もなお神罰が下ると言われています。



見所③(神津島温泉保養センター)

赤崎遊歩道や長浜海岸など海で思いっきり遊んだあとは、海を臨む村営の温泉保養センターで疲れを癒してみたいかがですか。

内風呂のほかに大小の露天風呂と展望露天風呂があり、展望露天風呂からは海に沈む夕日も眺めることができます。美しい風景を眺めながらゆっくりした時間を過ごすことができます。(露天風呂は要水着着用、レンタルなし)



▲露天風呂から海を臨む

見所④(アクアスロン大会)

6月末ごろ、神津島ではアクアスロン大会が開催されます。平成24年度から行われ、平成25年度で2回目となりました。

アクアスロンとは、トライアスロンから自転車競技を抜いたスイム&ランの競技です。

神津島の砂浜と村内を舞台に島内の急坂を上り下りしたり、海岸沿いを走ったりとかなり変化に富んだコースになっています。

美しい景色を楽しみながら、競技を楽しむことができます。体力に自信のある方、ぜひ参加してみたいかがですか。



▲平成24年度第1回大会の様子

チャレンジ・ザ・磯あそび

様々なタイプの海岸がある神津島の中で、長浜海岸は、海の景色と気分を味わいながら安全に遊べる海岸のため、子どもたちの磯あそびに最適です。石をひっくり返すと、カニや貝が簡単に見つかります。

磯あそびの後は、隣接するバーベキュー施設で「どんたく」(地元ではバーベキューのことをそう呼ぶ)を楽しんでみたいかがですか。



▲磯あそびをする子どもたち

こくようせき
黒曜石ミステリー

神津島は、黒曜石の産地としても有名です。

神津島の東側の岩肌には黒曜石の地層が黒光りしており、前浜海岸沖の恩馳島(おんばせじま)海底や多幸湾(たこうわん)の岩肌に沢山の黒曜石が見られます。

黒曜石は火山岩の一種で、後期旧石器時代(約35,000年から15,000年前)には石器として日常用に使われていたようです。

長野県の矢出川遺跡(後期旧石器時代末期)をはじめ本州中部地方や南関東から出土した細石刃などの石器が地元産地があるにもかかわらず神津島の黒曜石できていることがわかっています。

当時の同時期の遺跡からは丸木船しか出土していないため、どのような海上交通手段で神津島から本州へ黒曜石を運搬していたのか、一つの謎となっています。



▲神津島産黒曜石

シリーズ 島しょ地域の魅力を紹介!

第3回〈神津島村〉

神津島村役場(平成25年4月1日現在)

- *所在地 〒100-0601
東京都神津島村904番地
- *村長 石野田 富弘(いしのだ とみひろ)
- *職員数 75人
- *財政 決算収支(普通会計)(平成23年度)
歳入2,967百万円 歳出2,915百万円
- *主産業 観光業、漁業、農業
- *目標 「暮らして良かったと実感できる島づくり」
の実現
- ・農業、漁業、観光の振興
 - ・医療福祉の充実
 - ・教育環境の整備
 - ・島独自の文化の継承
 - ・人と自然が共生する安全で快適な環境整備



▲石野田富弘村長



▲神津島村役場外観



島で作っている麦焼酎です。ワインのように椗の樽で熟成されるため、うすいピンク色でほのかなぶどうの香りがします。

地元の方は水割りで飲むようです。ぜひ一度お試しください。

農業に力を入れています

神津島村では、観光業、漁業に比べて農業が後継者不足で厳しい状況にあります。そのため村では、農業研修施設の整備や新規農業従事者の確保、農業後継者の育成に関する事業を行い、農業の振興を図っています。

農業後継者の育成のための研修制度があり、5年ごとに募集します。平成25年度が第1期生で、今回は平成30年度となります。



▲主な農作物は、切り花などに使うレザーファン



▲ビニールハウスでの農業研修

役場職員インタビュー



神津島村産業観光課観光商工係
はるもと
鈴木 悠太 さん

平成18年入庁。現在は観光商工係で村の観光やイベントなどに携わっている。

神津島は鈴木さんにとってどんな島ですか？

神津島で生まれ育ち、高校から東京(本州)に出て最初の就職も東京周辺でしましたが、度々島に戻ってボランティア活動をしていくうちに島に戻る気持ちが芽生え、島に戻って役場に入職し、現在に至っています。一旦島を出てみてこの島のよさを再認識した今では、神津島以外の場所に住みたいとは全く思わなくなりました。

現在の仕事の目標はなんですか？

神津島の主産業は、やはり観光です。減少傾向にある観光客を呼び戻すために昨年からアクアスロン大会を開催するなど様々なイベントを企画しています。

しかし、観光客が来てくれても受け入れる民宿などが後継者不足のため減ってきているという状況があります。このような課題を解消するため、さらなる産業の振興を進めていきたいと考えています。

神津島を訪れる方へメッセージをお願いします！

神津島は、透明で日本一水質の良い美しい海に囲まれ、赤崎遊歩道のような珍しい場所もあり、夜になれば満天の星空が迎えてくれる島です。いるだけで心休まる場所なのです。ぜひ、来島して、皆さんの心と体を休めてほしいと思っています。

皆様のご来島を心よりお待ちしております。

平成25年度の調査研究事業について、今号と次号の2回にわたり、その概要を紹介します。

姉妹都市・友好都市交流の新たな可能性に関する調査研究

(1) 背景・目的

自治体間の姉妹都市・友好都市(以下、「姉妹都市等」という。)の締結は、昭和30年代に始まり今日に至っていますが、交流に対する一般市民の認知度には差があり、有名無実の場合もあることから、必ずしも多くの市民に寄与する有益な状態とは言い切れない状況にありました。

しかし、東日本大震災発生後には姉妹都市等の締結自治体による物資の搬送や応援職員の派遣などが積極的に行われ、継続的な都市間交流の有益性や日ごろの交流の大切さが見直されました。

そこで本調査研究では、これまでの姉妹都市等交流のあり方を見直し、改めて交流の持つ意義や有益性、課題点などを明らかにするとともに、文化、教育、観光など各分野にわたる交流事業が行政施策全体に与える効果などを検証し、課題解決のための方策を提示します。その上でこれまで培われた親善親睦・絆を有効に機能させることで生まれる交流のあり方やそのための仕組みなど、姉妹都市等交流を切り口とした新たな自治体間連携の可能性について提言することを目指します。

(2) 調査の方向性・内容

- ① 多摩・島しょ地域市町村の現状 → 交流の経緯・目的・主体・内容・課題などを把握
- ② 課題の抽出と解決のための方策 → 現在の姉妹都市等交流を実施する上での課題とその解決方法を、「全体の視点」及び「個別の視点」に整理して検討

視点	課題の要因	解決策
全体の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・理念が具体的な目的(事業)に結びついていない ・評価、検証による事業の見直しが不十分 	<p>【着眼点】どうすれば理念を目的として具体化し、事業化できるか?</p> <p>「自都市の特徴や交流の活用可能性の検討」 「目的の共有化」</p> <p>【着眼点】評価、検証による事業の見直しを進めるには?</p> <p>「成果評価の仕組みの構築」</p>
個別の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・(交流担当課の)人材の専門性が保たれない ・主管課と関係課との連携が不十分 ・市民や民間団体との連携が不十分 	<p>【着眼点】交流担当課の専門性を保つには?</p> <p>「交流に関する事業内容の共有」 「専門職員の育成」</p> <p>【着眼点】主管課と関係課との連携を強めるには?</p> <p>「主管課と関係課の役割の明確化と継続的な関与」 「(主管課と関係課の)交流先都市に関する情報交換・ニーズの発掘」</p> <p>【着眼点】市民や民間団体との連携を強めるには?</p> <p>「実施主体としての市民、民間団体の活用」 「評価主体としての市民、民間団体の意見集約の工夫」</p>

図表：姉妹都市等交流を実施する上での課題の要因と解決策(仮説)

- ③ 新たな都市間連携の可能性 → 教育・観光・防災などの政策分野、行政・市民・民間団体などの主体、そして複数の自治体がつながることで実現する多様な連携を「面的な「場」としてとらえ、交流のあり方を検討

(3) 主な調査手法

- ・アンケート調査、ヒアリング調査(行政・関係者・締結団体など)
- ・有識者ヒアリング調査
- ・先進事例調査
- ・文献調査

空き家対策と活用に関する調査研究

(1) 背景・目的

少子高齢化が進展する中で、全国的に「空き家」の発生が問題となっています。これは、第一義的には個人財産の管理の問題ですが、長期間放置されることにより倒壊の危険性が高まるほか、ごみの不法投棄や放火の不安など、地域住民の生活を脅かす原因となる恐れがあるため、各地の自治体には、「空き家の適正管理に関する条例」などを制定する動きが急速に広がっています。

しかし、所有者への指導・勧告、従わない場合の氏名の公表などの方策には実効性に限界があり、また、所有者の所在が不明な場合等も多く、課題が山積しています。一方で、自治体がいわゆる「空き家バンク」を運営することにより、空き家の有効活用を図り、地域振興等につなげていこうという取組も見られます。

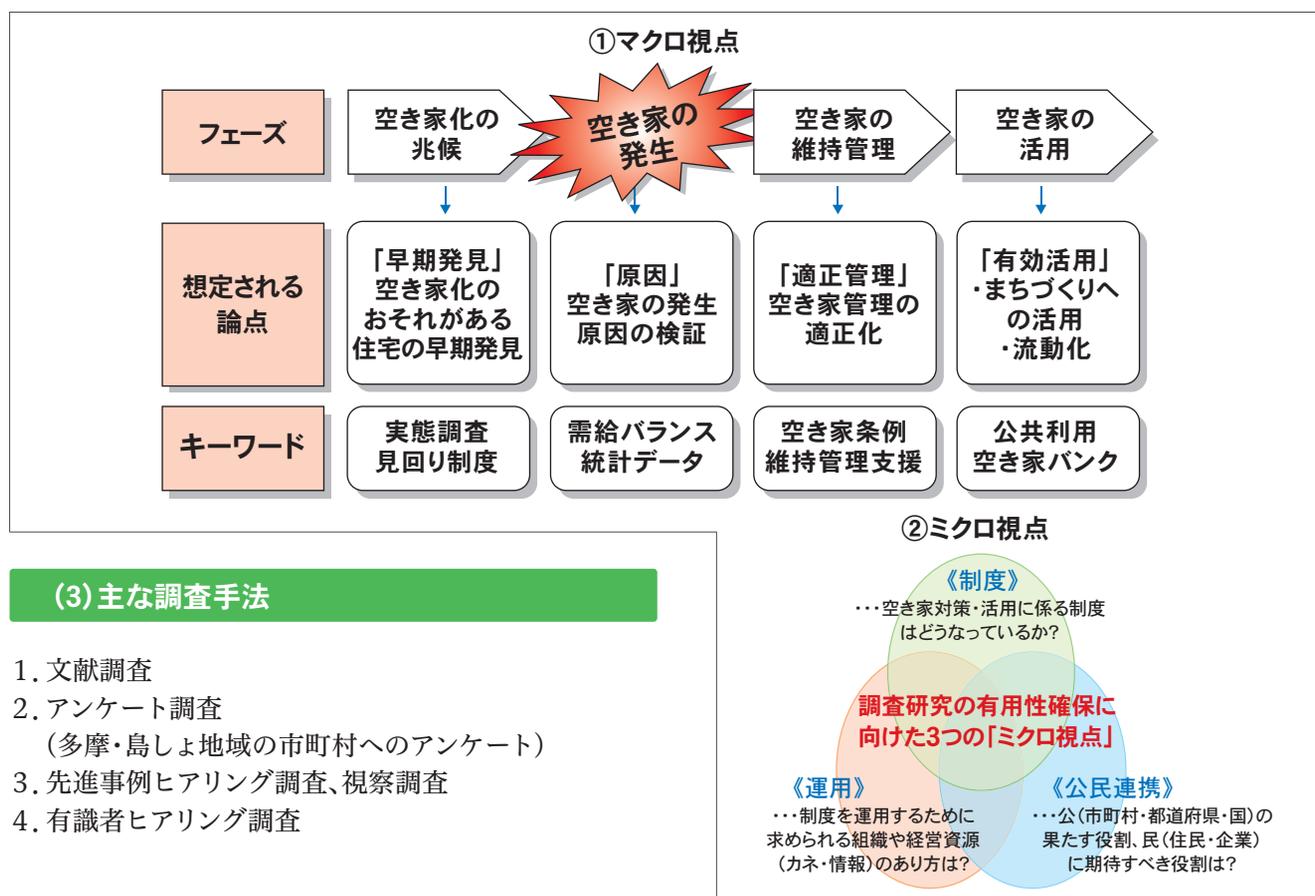
そこで本調査研究では、多摩・島しょ地域の市町村における空き家の発生状況及びその実態の把握状況、条例等の制定に向けた取組等について確認したうえで、空き家が地域にもたらす問題と対策の有効性について調査するとともに、空き家の発生抑制や活用の可能性についても検討します。

(2) 調査にあたっての2つの視点

本調査研究では、①空き家問題の全体像をとらえた「マクロ視点」、及び②実用性に配慮した「ミクロ視点」から調査研究を進めます。

マクロ視点では、「空き家化の兆候」「空き家の発生」「空き家の維持管理」「空き家の活用」といった各フェーズ(段階)ごとに想定される論点を設定したうえで、調査研究を進めることで、空き家問題の「全体像」をとらえた調査研究成果を目指します。

また、ミクロ視点では調査研究の実用性を確保するため、空き家対策に関わる「制度」、制度の「運用」及び空き家対策における「公民連携」の視点から、具体的な調査研究を実施します。



(3) 主な調査手法

1. 文献調査
2. アンケート調査
(多摩・島しょ地域の市町村へのアンケート)
3. 先進事例ヒアリング調査、視察調査
4. 有識者ヒアリング調査

TAMA市民塾塾生募集中! (平成25年10月開講)

No.	講座名	()内は講師名	No.	講座名	()内は講師名
1	中国語で話そう	(桑野 淑子)	10	世界に一つの人形で周りの人を驚かそう	(児玉明彌子)
2	解きほぐし「新古今」- 歌人の人生を覗く-	(伊庭 京子)	11	航海秘話 海の間人模様	(中村 孝)
3	アロマ・ハーブでナチュラルライフ	(矢田 薫)	12	すぐに使える カラーコミュニケーション講座	(中間たかえ)
4	お煎茶を通して身につけ学ぶこと	(斉藤 祥子)	13	朗読劇で楽しく声を出しましょう!!	(山崎 巖)
5	神楽と出会う	(三上 敏視)	14	「自然誌」文学と一緒に読みましょう	(塚本 正司)
6	リフレッシュ ヨガ	(町田さと子)	15	万葉集を読む	(葛山 由博)
7	柿渋クラフト講座一貫張りを作ろう!	(成田 昭夫)	16	シャンソンが誘うパリの歴史	(小西 厚子)
8	日本語の意外性	(梅林 義雄)	17	初心者のための“楽しいウクレレ教室”	(林 輝雄)
9	実践・楽しいウォーキング講座	(手島 正夫)			

●会 場：多摩交流センター(京王線府中駅北口 徒歩3分)

●申込資格：多摩地域に在住・在勤・在学の方

●申込方法：通常はがきに講座No・講座名・氏名(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号・年齢・性別を明記し、TAMA市民塾事務局まで(はがき1枚につき1講座)ただし、申込みは1人2講座まで

●申込期限：平成25年7月15日(月)(当日消印有効)

●受講料：3,000円～10,000円(講座によってはこの他に教材費が必要です)

※応募者多数の場合は抽選になります。振り込まれた受講料は理由を問わず返金しません。

●問合せ・申込み 〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F (公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター内「TAMA市民塾」
電話：042-335-0111(平日の9時～17時)

主 催：TAMA市民塾・(公財)東京市町村自治調査会

◎詳しくは自治調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)、多摩のかけはし6月号をご覧ください。

2013年 市町村振興宝くじ

7月10日(水) 同時発売

発売期間: 7月10日(水)～8月2日(金)
抽せん日: 8月13日(火) この宝くじの収益金は区市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

公益財団法人 東京都区市町村振興協会

「東京愛らんどフェア」

南国を思わせるような青空が広がっていた5月24日、新宿駅西口広場イベントコーナーで開催された「東京愛らんどフェア」に行ってきました。その様子をお伝えします。



▲三宅島の郷土芸能(神着太鼓)

伊豆諸島、小笠原諸島にある9つの町村がそれぞれの島の特産物を出店しており、平日の夕方にも関わらず各島のブースの前には沢山の人が集まっていました。また、ブースの奥に設置されているステージでは、司会の方が軽快な口調で島のPRを行っていました。

会場に着いた時、ちょうど三宅村のPRイベントが始まり、190年も前から島に伝わっている「神着太鼓」(かみついだいこ)という勇壮なパフォーマンスが披露され、聞いている私の胸に太鼓の重厚な音が響いてきました。島の海岸沿いの砂浜で、海に向かって力強く太鼓をたた



▲ミス八丈島による島の紹介

ている島の人たちの姿が思い浮かぶようでした。三宅村の次は、八丈町の紹介でした。「ミス八丈」とMCの方による八丈町のPRがあり、その中では、島には温泉が7つもあること、夏祭りや花火大会が開催されること、5月に公開される映画のロケ地になっていることなどが紹介されました。地元の方から直接聞く島の

特徴や文化の違いを感じることができました。

その中では、島には温泉が7つもあること、夏祭りや花火大会が開催されること、5月に公開される映画のロケ地になっていることなどが紹介されました。地元の方から直接聞く島の



紹介は、島イコール海水浴だけではない新たな魅力の発見につながるものでした。

村の職員の方や酒屋の主人の方がPRをした青ヶ島村は、地熱利用によるサウナがあり、満天の星空が望める自然あふれる所であることが紹介されました。村の職員の方からは「是非、大自然溢れる青ヶ島へ、ただし、島ではキャッシュカード等が使えないので気を付けてください。」というプチ情報の提供もありました。

島のPRステージを見学したのは、3つだけでしたが、特産品コーナーにはすべての島から様々な品物が並べられていました。世界遺産として登録されている小笠原村は、



▲特産品販売の様子

パッションフルーツなどを、また、大島町では「ミス椿の女王」が椿を使った商品などを紹介しており、利島村、新島村、神津島村では、味は一流でもちょっと匂いの気になる「くさや」の干物などが、御蔵島村では、豊富な水資源を生かした天然水などが並んでおり、それぞれの島の特徴や文化の違いを感じることができました。



▲賑わう特産品販売コーナー

また、会場には、今年開催される「スポーツ祭東京2013(東京多摩国体)」のマスコットである「ゆりーと」やNHKの大河ドラマ「八重の桜」のマスコット「八重たん」も会場の盛り上げに一役買っていました。

わずか1時間足らずの見学でしたが、十分に島の雰囲気を感じることができました。これから夏の計画を立てようと考えている方、東京の島々も候補にしてみてもいかがでしょうか。



▲ミス椿の女王とゆりーと、八重たん

理事会・評議員会を開催しました

理事会及び評議員会を、以下のとおり開催しました。その主な内容をお知らせします。

★開催した理事会及び評議員会

- 第1回理事会 平成25年5月10日(金) 書面による決議
- 第1回評議員会 平成25年5月27日(月) 東京自治会館で開催
- 第2回理事会 平成25年5月27日(月) 東京自治会館で開催

★理事会・評議員会で決定した主な内容

【評議員会】

- 退任された評議員の後任として、新たに以下の方が選任されました。

任期は、前任者の残任期間となります。(平成27年度に関する定時評議員会終了まで)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 【評議員】 石森 孝志(八王子市長) | 呂上 守正(武蔵野市長) |
| 石阪 丈一(町田市市長) | 佐藤 一夫(国立市長) |
| 尾崎 保夫(東大和市長) | |

- 任期満了に伴う理事・監事の後任として、新たに以下の方が選任されました。

任期は、平成26年度に関する定時評議員会終了までとなります。

- | | |
|------------------|---------------|
| 【理事】 竹内 俊夫(青梅市長) | 北川 穰一(昭島市長) |
| 長友 貴樹(調布市長) | 藤野 勝(武蔵村山市市長) |
| 阿部 裕行(多摩市長) | 白井 孝(あきる野市長) |
| 石井 恒利(市長会事務局長) | 橋本 聖二(日の出町長) |
| 河村 文夫(奥多摩町長) | 梅田 和久(利島村長) |
| 【監事】 清原 慶子(三鷹市長) | 坂本 義次(檜原村長) |

【理事会】

- 新たに理事長及び副理事長並びに常務理事が選任されました。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 理事長 竹内 俊夫(青梅市長) | 副理事長 河村 文夫(奥多摩町長) |
| 常務理事 石井 恒利(東京都市長会事務局長) | |

- 『平成24年度事業報告』及び『平成24年度収支決算報告』について承認されました。
- 『平成25年度収支補正予算』について承認されました。

市長会から



平成25年5月27日(月)に、市長会議が開催されました。主な内容は、下記のとおりです。

○東京都等からの連絡事項

総務局から、平成25年度の「多摩振興プロジェクト事業」について説明がありました。建築物の耐震化の促進や多摩南北道路主要5路線の整備、スポーツ祭東京2013(東京多摩国体)の開催経費など、予算総額は2,515億1,200万円で、対前年度比122億円の増額となっています。

○平成24年度 事業報告及び一般会計歳入歳出決算について

事業報告として、市長会などの会議の開催や東京都の予算編成に対する要望活動を始めとする各種の要望、政策提言、多摩・島しょ広域連携活動助成事業、みどり東京・温暖化防止プロジェクト事業などを報告しました。

決算内容として、主な歳入は、構成26市からの分担金、(公財)東京都区市町村振興協会からの国体開催・オリンピック招致気運醸成事業補助金です。

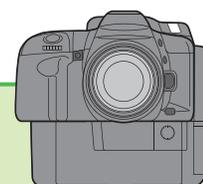
主な歳出は、スポーツ祭東京2013(東京多摩国体)開催及び2020年オリンピック・パラリンピック東京招致に関する気運醸成事業助成事業費、人件費となっています。

これらの決算額は、歳入4億8,000万円、歳出4億6,000万円であり、差引残額2,000万円は翌年度に繰り越しました。

以上について一括して審議し、承認されました。

○スポーツ祭東京2013(東京多摩国体)開催及び2020年オリンピック・パラリンピック東京招致に関する気運醸成事業助成金事業の報告について

本事業として、各市町村及びスポーツ祭東京2013実行委員会が実施した事業内容などについて報告しました。



「表紙写真の募集」

自治調査会では10月より当機関紙をリニューアルする予定です。機関紙をより身近な存在に感じていただくため、その表紙を飾る写真を募集しています。多摩・島しょ地域の魅力あふれる自然や伝統あるお祭り、後世に伝えていきたい街並みなどを撮影した写真をお寄せください。

ふるってのご応募お待ちしております。

応募要領

1 募集作品

写真のテーマは「私の好きな多摩・島しょの風景、催事、街など」とし、撮影場所が特定でき、平成23年4月～平成25年7月の間に撮影したもの

2 応募条件

東京の多摩・島しょ地域に在住・在勤・在学の方が撮影し、応募時点で撮影者自身に著作権がある未発表のもので、他に応募していない写真に限る

3 応募方法

一人につき2点までとし、作品には、タイトル、撮影場所、撮影年月日、撮影者の住所・氏名・電話番号を明記

※ 詳しくは、自治調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)か、多摩交流センター窓口で配布する「募集のお知らせ」をご覧ください。

とっておき特産物

第26回 東久留米市

やなぎくぼ 柳久保うどん

収穫量が少ないことなどで量産が困難なことなどから昭和17年以後、姿が消え「幻の小麦」となった柳久保小麦を地元農家が復活させ、その小麦を乾麺として数量限定で商品化しました。

歯応えのあるモチモチとした食感と独特の小麦の香りが楽しめる乾麺となっており、うどんの奥深さを教えてくれるような味わいとなっています。



やなぎくぼ 柳久保かりんとう

市の特産である柳久保小麦を使用した「かりんとう」。味は黒糖味とアーモンド味の2種類があり、カリカリ・サクサクの食感が美味しさを醸し出し、後を引きます。

容器包装にも拘っており、お中元やお歳暮などの贈答品としても重宝する逸品となっています。



梅ワイン

実は、「梅」も特産品となっている東久留米市。果肉が厚く果汁もたっぷりの良質な「白加賀」という品種を原料に、大手ワインメーカーと共同開発しました。

味は甘口・辛口(ドライ)・微発泡(スパークリング)などワイン好きには堪らないバリエーション豊富なラインナップとなっています。



記事、写真提供：東久留米市市民部産業振興課
☎042-470-7743

発行 (公財) 東京市町村自治調査会
責任者 桑原正志
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1
東京自治会館4F
TEL 042(382)0068
ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>